

平成 28 年度第 2 回丹波市入札監視委員会議事概要

開催日及び場所		平成 29 年 2 月 24 日（金） 丹波市役所柏原支所 2 F 会議室	
出席者	委員	石原 俊彦 （関西学院大学大学院経営戦略研究科教授） 宮本 幸平 （神戸学院大学経営学部教授） 古賀 徹 （弁護士） 福元 俊介 （公認会計士）	
	事務局	中野技監兼入札検査部長 三方入札検査室長 木村入札係長	
	説明者	河川整備課 高野、足立、井上 市民環境課 田原 住まいづくり課 前川 堂本 暮らしの安全課 塩見 消防課 方山、吉竹 総合政策課 山崎、奥田	
内容	1 報告 消防無線の談合事件について 同価応札時のくじびきについて		
	2 議事 （1）平成 28 年度上半期入札・契約状況の報告 対象期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日		（建設工事）入札：98 件 落札率：86.50% 契約金額合計：2,859,255 千円 （業務委託）入札：99 件 落札率：69.10% 契約金額合計：365,125 千円 （物品購入）入札：32 件 落札率：85.52% 契約金額合計：364,245 千円 （随意契約）件数：233 件 契約金額合計：3,281,403 千円 指名停止：16 件
	（2）抽出事案に係る入札及び契約 手続き等の審議 対象期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日		抽出件数：10 件 （内訳）一般競争入札：4 件 指名競争入札：3 件 随意契約：3 件
委員からの質問・意見		質問・意見	回答
それに対する回答等		別紙 1 （1～3 ページ）	別紙 1 （1～3 ページ）
委員会による意見の具申又は勧告（講評）		別紙 2	

別紙 1

質問・意見	回答
1 報告 同価入札の電子くじに統計的に不公平はないか？検証はされているか？	公平性の検証までは本市では行っておらず、公正なものと判断している。くじ引きは、入札条件の一つとなっている。
2 平成 28 年度上半期入札契約状況等報告 ① 平成 28 年度上半期入札・契約状況 ② 建設工事の年度別入札状況 ③ 指名停止状況	
3 抽出事案に係る入札契約手続き等の審議 今回の事案抽出の考え方	別紙 2 の通り
(1) 制限付き一般競争入札 道整工第 22 号 市道才木谷線道路改良工事 (2) 指名競争入札 下工工第 15 号 舗装復旧工事（氷上北処理区） (4) 制限付き一般競争入札 河整工第 23 号 （普）清水川河川改良工事（3 工区） (5) 制限付き一般競争入札 丹水委第 29 号 老朽管更新工事実施設計業務 ① どの工事でも金抜設計書を渡しているのか？ ② 数社の抽選からほぼ全社の抽選となっているが ③ コンプライアンスの問題はないと思うが、抽選なのか競争入札なのか。一般の市民の方は理解できるだろうか。入札が金額の当て合いになっている。	※ 最低制限で金額が並ぶ案件のため、一括審議 ① すべての工事で金抜設計書を渡している。基準もわかっている。 ② 構成する単価が少ない工事のため、バラつきが少ない。予定価格を公表しているので、総額の工事費がわかると、明細の分かる逆算ソフトもあるようだ。予定価格に合うよう積み上げても、最低制限の計算が可能となっている。 ③ 事前公表の検証は必要である。最低制限での抽選なので、高止まりにはなっていないという点では問題ではない。計算方法は、公共工事契約業務連絡協議会によるものであり、今のところ独自の方法を取ろうとは考えていない。低入札価格制度もあるが、見積書を提出してもらって、施工可能かの判断をするのは難しい。県などはランダム係数で、最低制限価格を移動させている。

別紙 1

質問・意見	回答
(3) 随意契約 河災工第 1 号 (普) 長谷川河川災害復旧工事 ① 最初から本体工事と一体化して発注できないのか？ ② 予定価格は誰なら知っているのか？ 決裁が上に、上に行くと、工事規模の割に見る人が多くなる。漏えいしない工夫は？ 他市で上層部による事件があったが、予算で承認されているなら決裁の額はもっと上げてもいいのでは。	① 後から発生した工事である。積算ソフトの正確さと、歩切ができないため、設計価格に近くなる。積算については、土木工事標準のものを使っている。 ② 現状、問題のないように決裁している。決裁については今後も改善に検討を続ける。
(6) 指名競争入札 丹市環業第 12 号 河川等水質調査業務 ① ヒ素の検査を追加でしているが、検出されたことがあるのか？ ② 法律で決められた業務なのか？	① 鉦山跡があり、地元からの要望相談により行っている。検出事例はない。 ② 法律や条令で決められたものではない。14 カ所をまわる。河川の水を採水する。
(7) 随意契約 住ま委第 1 号 丹波市移住相談ワンストップ丹波窓口業務 ① 受注者はどういった企業か？ ② 受注額の根拠は？ ③ 直営のところもあるが、どういう選択をしたか？ ④ 3 年目も継続か？ 論点が広がりすぎているのか？ 選考は外部の人はいるか？ この事業にコンプライアンスはないが、直営ですべきでは？	① 市内の企業で、地域おこし等に参加している。公募なので、市内市外の区別はしていない。 ② 相談員の人件費、事業活動費、旅費、取材費、広報費である。常注 1 名である。県の技術員の単価を採用している。 ③ 土日の開業が必要であり、民間の発想とネットワークに期待している。 ④ 選考委員会は外部委員 1 名である。若い人の移住をターゲットとしている。職員も事業には同行している。
(8) 制限付一般競争入札 丹く安物第 5 号 消防ポンプ自動車購入 納品されたものはポピュラーなものなのか、後のメンテナンスはどうなのか？ 防災ヘリではそういったことが多いが。装備品も消防庁の基準か？	規格は消防庁が定めている CD-1 である。水槽を付けた程度で、後は一般的な仕様である。本体などで、海外製で特殊であるといったことはない。装備品は各自治体の裁量であるものが多い。過去の発注と同様のレベルにしている。

別紙 1

質問・意見	回答
(9) 指名競争入札 消消物第 24 号 半自動除細動器購入 本入札の辞退・欠席が多いが。事前の調査は行わないのか？	医療系は取り扱いがないという理由による辞退や欠席が多い。事前調査はしないが、営業品目に A E D が挙げられているため指名している。メーカーで取扱いが不可あるようだ。本品は、県で望ましい機能がついたものとされている。
(10) 随意契約 丹企政第 16 号 基幹系システム機器更新に係る MISALIO 専用機器等購入 ① 随契理由は理解できるが、永遠に続く者なのか？ ② 窓口業務の外部委託等が話題になっている。介護業務では一部事務組合で集約もできるがどう思うか。	① 6 年間は使用することになる。スケールメリットを活かした自治体クラウドという構想もある。 ② どの自治体でも同じ業務が同じある。県下でも、数団体同じシステムを使っている。6 年前にプロポーザルにより選定し、その際には 10 年は使えるように想定をした。

委員会による意見の具申又は勧告（講評）	
1. 今回の事案抽出の考え方 （１）有効入札１７社が全て最低制限価格である。実質は抽選会のような状態である。 （２）有効入札１０社の入札価格が全て最低入札価格である。 （３）随意契約とされた理由を聞きたい （４）業務内容ならびに随意契約となった理由 （５）最低制限価格と同額が７社ある。 （６）入札率が低い。最低入札価格が設定されていない。 （７）業務内容ならびに随意契約となった理由 （８）消防ポンプ自動車という特殊性並びに、最低制限価格が設定されていない場合は、入札価格が分散されていることが分かる （９）半自動除細動器という物品の特殊性 （１０）高額であるが、随意契約となった理由 2. 総括 今回審議したもので、コンプライアンスに問題のある案件はゼロである。事業の是非まで考えると、委員会の考えることは、際限なく広がっていく。直営と委託の事業配分に疑問を感じるものがある。 3. 今回の指摘事項 指摘事項としてはなし。	